

チェリッシュ S-601

【禁忌・禁止】

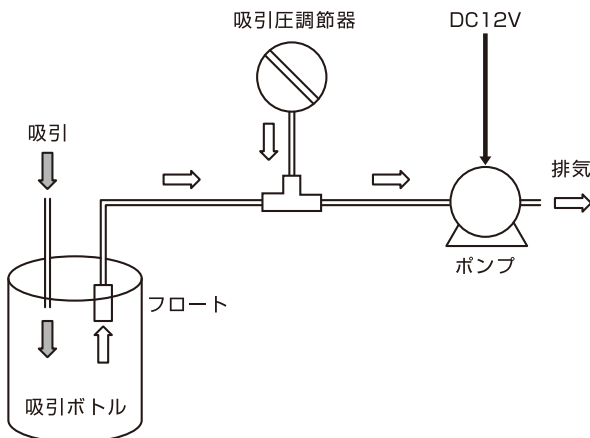
<適用対象(患者)>

1. 機器と接触する部分に傷や炎症、出血などが見られる場合は、使用しないでください。
[症状が悪化するおそれがあります。]
2. 下記の場所では本品を使用しないでください。
[火災やケガのおそれがあります。]
 - ・ 酸素濃度の高いところ。
 - ・ 笑気ガス(N₂O)のような酸化的雰囲気の中。
 - ・ 可燃性のガスを使用しているところ。
 - ・ MRI検査室
 - ・ 手術室での胸部ドレナージや経鼻胃吸引には使用しないでください。
[人体への損傷につながるおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

動作原理

電動モーターを使ったポンプが作り出した流体の流れにより、吸引ボトル内を陰圧にする。吸引チューブ接続口に接続した吸引チューブ、カテーテルなどから液体、分泌物が吸引されて吸引ボトルに溜まる。



吸引原理

(1) 本体の構造

カテーテルなどに接続する吸引チューブ、液体、分泌物を溜める吸引ボトル、液体、分泌物のポンプへの流入を防ぐためのフロート、吸引圧を調節するための吸引圧調節器、吸引圧を表示するための真空計、流体の流れを制御するポンプ、ポンプを動かす電源で構成されている。

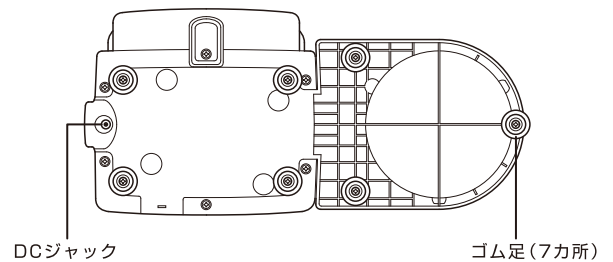
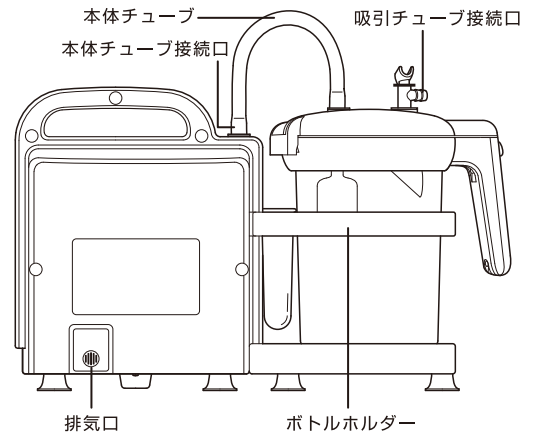
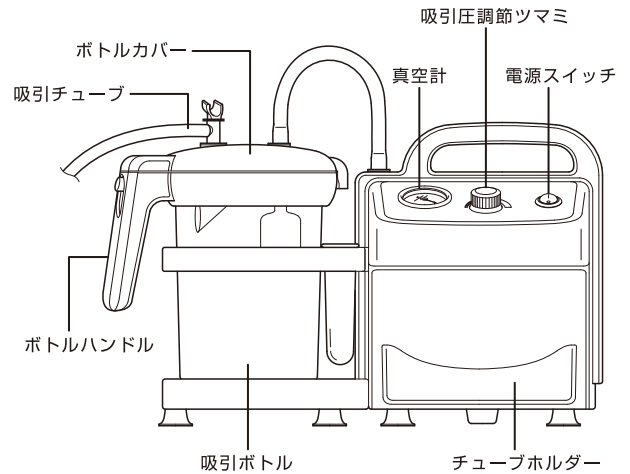
(2) ポンプの原理

電動モーターによって容積が変化するポンプに流入口と排出口があり、それぞれの口は流体を一方にしか流さない構造になっている。ポンプ容積が大きくなると流入口より流体がポンプ内に吸い込まれ、ポンプ容積が小さくなると排出口から流体が押し出される。これにより、流体の流れが流入口から排出口への一方に制御される。

(3) 吸引圧調節器の原理

吸引経路以外から空気を取り込む吸気流入口が吸引圧調節器に付いており、ここでの空気流入量を調節することで吸引チューブ側からの吸引量を加減することが可能である。

各部の名称



※本体はEMC規格「IEC60601-1-2:2014」に適合しています。

【使用目的又は効果】

痰汁などの吸引に用いること。

【性能】

電源	専用ACアダプター
吸引圧	-85kPa±10%(最高吸引圧)
吸引ポンプの排気流量	25/min以上
外形寸法	430mm(W)x176mm(D)x270mm(H) (吸引ボトル除く)
電撃保護	クラスII機器 BF型装着部
水の有害な侵入に対する保護の程度	IP22

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

<本体の組み立て方>

- (1) 本体を安定した場所に置き、吸引チューブを吸引チューブ接続口に接続する。
- (2) 本体チューブを本体のチューブ接続口と、吸引ボトルの接続口に接続する。

<電源の準備>

- (1) 吸引圧調節つまみを最小にする。
- (2) 電源スイッチが「切」にする。
- (3) ACアダプターのピンプラグを本体のDCジャックに接続する。
- (4) 電源プラグをコンセントに差し込む。

2. 使用

<痰吸引方法>

- (1) 吸引チューブにカテーテル（別売）を接続する。
- (2) 吸引圧調節つまみが最小になっていることを確認し、電源スイッチを「入」にする。
- (3) カテーテルの根本を手で折り曲げ、空気の流入を止める。
- (4) 真空計の目盛りを確認しながら吸引圧調節つまみを回し、適切な圧力（医師の処方した吸引圧）に調整する。
- (5) カテーテルを折り曲げた手を離す。
- (6) カテーテルの先端を清潔な常水もしくは精製水などにつけ、吸引チューブ内に水を通し洗浄する。
- (7) カテーテルの先端を口腔、咽喉などに挿入し、吸引を行う。
- (8) 吸引後、カテーテルの先端を清潔な常水もしくは精製水などにつけ、吸引チューブ内に水を通し洗浄する。
- (9) 電源スイッチを「切」にし、ポンプを停止する。

3. 使用后

<電源の取り外し方>

- (1) 吸引圧調節つまみが最小になっていることを確認する。
- (2) 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。
- (3) 電源プラグをコンセントから抜く。
- (4) ACアダプターのピンプラグを本体のDCジャックから抜く。

<吸引ボトルの取り外し方>

- (1) 吸引チューブ接続口から吸引チューブを外す。
- (2) 本体のチューブ接続口から本体チューブを外す。
- (3) 本体から吸引ボトルを外す。
- (4) ボトルフォルダーのボタンを押してボトルカバーを外す。
- (5) 吸引ボトルに溜まった吸引物を捨てる。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 機器を使用する際は次の事項に注意してください。
 - ・必ず医師または医療従事者の指導のもと使用してください。
 - ・本品は必ず操作方法が分かる大人の方が操作してください。
 - ・水平で安定した場所で使用してください。
 - ・直射日光の当たる場所、高温、高湿になる場所に設置しないでください。
 - ・機器を倒さないでください。
 - ・機器に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
 - ・機器が落下や外部からの圧力などにより、破損、変形した場合は、使用しないでください。
 - ・必ず専用のACアダプターを使用し、交流100Vで15A以上の容量があるコンセントに接続してください。
 - ・濡れた手でACアダプターや電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。
 - ・電源プラグを抜くときは、ACアダプターを持たず、必ず電源プラグをもって引き抜いてください。
 - ・ネジやプラスチック部品をむやみに外さないでください。故障の原因となる恐れがあります。
 - ・吸引ボトルに、割れ、キズ、カケがあるものは使用しないでください。
2. 機器の使用中は次の事項に注意してください。
 - ・機器全般及び患者に異常が無いことを絶えず確認してください。機器および患者に異常が発見された場合は、患者に安全な状態で機器の作動を止める等、適切な措置を講じてください。
 - ・ご使用の際は、3～5秒を目安に吸引してください。
 - ・使用中に発疹、発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
 - ・吸引物が吸引ボトルの規定容量を超えないようにしてください。
 - ・5分以上の連続運転はしないでください。
 - ・本体各部に注油しないでください。
 - ・本体底部の排気口を塞がないでください。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・次回の使用に支障のないよう清潔に保ち、直射日光や高温を避けて湿気の少ないところに保管してください。
- ・乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・保管環境温湿度 -10～60℃、75%RH以下(ただし結露なきこと)

<耐用期間>

- ・本体の耐用期間は7年【自己認証(当社データ)による】
- 推奨された環境で使用と保管をして、指定の保守と点検並びに消耗品の交換を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄、消毒の方法

- ・使用後は、定められた手順により使用前の状態に戻してください。
- ・機器に無理な力を掛けないでください。
- ・機器をベンジンやシンナー、溶剤などで洗浄しないでください。
- ・本体やACアダプターを水に浸したりしないでください。
- ・詳細については『取扱説明書』の洗浄の項目に記載しておりますので、ご参照ください。

2. 使用者による保守点検事項

- (1) 長期間の使用により、機器の部品等は磨耗、消耗し経年劣化します。取扱説明書に示す『保守点検（ユーザー）チェックリスト』に従い、定期的に点検を実施してください。
- (2) 使用前には以下の点検を実施してください。点検により異常が確認された場合は使用しないでください。
 - ・本体や付属品にキズ、腐食、汚れがないことを確認してください。
 - ・ACアダプターのプラグが変形していないことを確認してください。
 - ・洗浄剤や消毒剤が機器に残っていないことを確認してください。
 - ・機器の『取扱説明書』に記載されている付属品と組み合わせたときに正しく機能することを確認してください。

3. 業者による保守点検事項

- ・1年に1度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を必ず行ってください。

【包装】

1 セット/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者名	シースター株式会社
電話	03-6711-5500
* 製造業者名（国名）	シースター株式会社（日本）